

2018年7月

第94号

ぱれっと



(株)北日本ベストサポート
Tel. 018-883-1888

歴史的な米朝首脳会談

6月12日、敵対してきた米国のトランプ大統領と北朝鮮の金正恩労働党委員長による史上初の米朝首脳会談がシンガポールで行われた。

昨年まで「小さなロケットマン」「古いぼれ」などと罵り合っていた両首脳が硬い握手を交わし、にこやかに会談し共同声明に署名し新たな対話による米朝関係構築の第一歩を踏み出したことは歴史的な出来事として歓迎したい。

共同声明ではトランプ大統領が北朝鮮の安全保障面での「体制保証」を確約する一方、金委員長が「朝鮮半島の完全な非核化」に取り組む意思を再確認した。

しかし、非核化の時期や具体策は示されることなく、米国が求める「完全かつ検証可能で不可逆的な非核化」への道筋が描かれていない。さらに、北朝鮮の弾道ミサイル問題は一切声明に盛り込まれていない。

外交評論家の岡本行夫氏は「北朝鮮は米国経済の1000分の1の経済力しかなく、米国大統領が金委員長と会談するのは『核と弾道ミサイル』を保有しているからだ。核とミサイルを放棄すれば只の最貧国の一つに過ぎなくなる、これを簡単に放棄するとは考えにくい」と指摘する。

今回の会談では今秋の米中間選挙を控え、目先の成果を焦るトランプ政権の前のめりな姿勢が目立ち、北朝鮮がそこを巧みについできた可能性がある。

北朝鮮は、「段階的」な非核化を主張、小刻みにカードを切りその都度、経済制裁の緩和を求めるとか、非核化を遅延させることを目論んでいるのではないかと懐疑的となる。ミサイルについては全く言及されていない。

一方で、「行動対行動」の原則順守が重要とし、「相手を刺激し敵視する軍事行動を中止する」よう求め、トランプ大統領は8月予定の米韓軍事演習を中止することにした。なお、北朝鮮ではソウルに壊滅的打撃を与えられる火砲を最前線に配備したままとなっている。

我が国の最大関心事は「日本人拉致被害者問題」だ。トランプ大統領がこの件について問題提起したが、金委員長はこれまでの「解決済み」の姿勢を前面に立てることなく特に目立った主張はなされなかったと言われる。これからはトランプ大統領頼みでなく、日本政府が主体性を持って交渉に当たり問題解決を図っていただきたい。

米朝会談も緒についたばかりである。声明の内容は包括的なものばかりで具体的なことは何も決まっていないも同然だ。

米朝会談も日朝交渉もこれからが本番、これからの交渉では紆余曲折が予想されるが、問題解決が図られた後に、東アジア情勢と世界の枠組みはどのような変化を見せるのだろうか。戦後最大の安全保障環境の変化に日本はどう対処することになるのだろうか。熟慮しておくべき重要な課題である。



平澤 興 語録より

人を大切にし、大事にするということは、人に喜びを与えることである。
金や物も必要ではあるが、なによりも人を大切にすることである。

やせ我慢の気力でなく、相手を楽しくさせる気力でなければ、本当ではない。

失敗でも、不幸でも入口の門が二つある。
一つの門はもう一度失敗をくりかえす。もう一つの門は失敗から幸福への門で、その失敗を反省の材料として、逞しく希望に向かって実行する。

長所といえども癖である、この方の癖をのばせば、悪い癖もその大きさの中にかくれてしまう。大木も小さい時はまがっていても、大木になればまっすぐになるようなものである。
そしてかくれた癖はときに応じてその人の味わいとなり花となって、その人に芸術味を与えることになる。

ほんとうの大物は、良い意味でどこか足らぬところがある。それがまた魅力であり、風格である。

その人の味とは、人柄であり、面白味、明るさ、バラエティー、愛嬌、ユーモア、魅力などである。

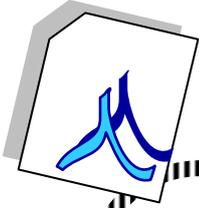
一杯飲みながら、人から悪口を言われながらも、面白いなと言える程、深さとおろかさ(謙虚)が大事である。その悪口に対する反論はやすやすと出来るが・・・。楽しくにこにことして飲むのは、常識でいうまじめさ以上のものである。

わかっているというが、頭でわかっているのと、実行して体でわかっているのでは違いがある。

失敗し落第しても、問題はそれから立ち上がる力だ、人物になろうとする情熱である。

人は単に年をとるだけではいけない、どこまでも成長しなければならぬ。

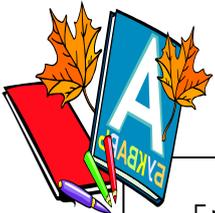
【生きよう今日も喜んで】



高橋 是清 (幕末の武士・政治家・第20代内閣総理大臣)

嘉永7年閏7月27日(1854年)	幕府御用絵師・川村庄右衛門、きんの子として江戸芝中門前町(芝大門)に生まれる。
慶応3年(1867年)	生後、仙台藩足軽・高橋覚治の養子となる。(横浜のアメリカ人医師ヘボンの私塾であるヘボン塾《現・明治学院大学》に学び)藩命により勝海舟の息子・小鹿と海外に留学。
明治元年(1868年)	詐欺に遭い、奴隷同然の生活を強いられた。帰国。帰国後明治6年文部省に入省。その後、共立学校(現開成中学校)の初代校長を務めた。
明治17年(1884年)	農商務省特許局、初代局長就任。
明治22年(1889年)	ペルーで銀鋳事業を行うが失敗。
明治25年(1892年)	日本銀行入行。
明治44年(1911年)	日銀総裁に就任。
大正2年(1913年)	山本内閣の大蔵大臣に就任。立憲政友会入党。
大正10年(1921年)	原総理暗殺により後継の内閣総理大臣に就任。翌年6月総辞職。
昭和2年(1927年)	金融恐慌始まる。大蔵大臣として3週間の支払猶予を認める緊急勅令渙発と大量紙幣増発で恐慌の沈静化を図る。
昭和7年(1932年)	犬養総理暗殺(5.15事件) 大蔵大臣就任(5度目)
昭和11年2月26日(1936年)	私邸で暗殺される。(2.26事件) 享年82歳。同日、正二位。大勲位菊花大綬章、を受ける。

オススメの BOOK



『歴史と人生』

著者 半藤 一利 出版社 幻冬舎新書

「史記」でも「万葉集」でも、人間の悩みは現代と変わらない。失意のときどう身を処すか、憂きこと多き日々をどう楽しむか。答えは全て歴史に書き込まれている。

敬愛してやまない海舟さん、漱石さん、荷風さん、安吾さんの生き方。昭和史、太平洋戦史を調べる中で突きつけられた人間の愚かさ、弱さ等々。

80冊以上の著作から厳選した半藤流のエッセンスが散りばめられている。

現代を考える上で様々なヒントを与えてくれる。



長生きすると得する「トンチン年金」

イタリアのトンティさんが考案した「トンチン年金」ご存知でしょうか？

生命保険会社が扱う年金保険の1つのタイプとして、これまでとは少し違ったタイプの年金保険が契約数を伸ばしています。長生きできなかつた人の支払った保険料が、長生きをしている人の年金に回る仕組みの保険です。生きている限り年金がもらえるので、老後資金の不安が軽減できるとされています。

平均寿命は少しずつ延びています。90歳、100歳と長生きした場合に心配なのはやはり老後資金です。保険会社から年金が終身もらえるとしたら趣味や娯楽に抵抗なく使える気になるかもしれません。

商品によっては損益分岐点がかなり高齢になってからのケースもあります。長生きするほど得をするというのは、長寿社会では魅力的です。自分で寿命を選ぶことは出来ませんが、長生きしそう、家族に長寿が多い人などには有利かもしれません。

では、代表的なトンチン年金タイプの保険をご紹介します。

例:70歳から毎年60万円の年金を受取る場合

50歳時で加入すると、毎月の保険料は男性が約5万1千円、女性は約6万3千円。年金受取総額が払込保険料を上回り、元を取れるのは、男性が90歳、女性が95歳を超えた時点となります。

5年の保証期間をつければ、70歳になったばかりで亡くなった場合には遺族が最高300万円を受け取れることとなります。

しかし、保証期間を過ぎて亡くなると保険金は支払われません。受取開始までに払込んだ保険料総額は1200万円以上となります。

長生きできる自信のある人には向いていますが、毎月の保険料が高額で、老後も保険料を払っていけるのか事前に確認する必要があります。

高齢になってからお金を貰ってもしようがないと思うのか、高齢になってからお金がないのは大変と考えるのかがポイントのようです。

また、加入を検討する際には、トンチン年金がその人にとって目的に合ったお金の活用法であることが重要です。

何故なら、生命保険には相続人1人当たり500万円の控除が認められていて相続財産から差し引くことができますが、トンチン年金のような年金保険は控除できないため相続税対策としたいならば終身保険のような死亡保険を選ぶ必要があるからです（手元にある資金を老後のために増やしたいのであればトンチン年金は不向きといえそうです）

因みに、トンチン性の高い年金といえは、「公的年金」です。100歳まで生きた場合の返戻率は約6.6倍という高さです。



五城目町「ネコバリ岩」
約6mの巨岩に何本もの巨木が根を張って地面と繋がっている
マイナスイオンを感じるスポット！

【編集後記】

暗いニュースが続く中、サッカー・ワールドカップが始まった。日本代表は初戦で、前回大会で苦杯を喫しているコロンビアと対戦、相当の苦戦が予想されたが2対1で雪辱を果たし、幸先良いスタートを切った。

大会直前に監督の更迭などの荒治療もあり不安視する声もあったが、ベテラン・中堅の選手たちが一体となった日本らしい持ち味を生かしたチーム戦を展開し見事に勝利した。勢いづいた第2戦のセネガルとの対戦は、本田の同点Gでドロー。勝ち点4点に。日本は2大会ぶりの決勝トーナメント進出をかけて第3戦でポーランドと対戦する。勝利を期待したい「頑張れ日本!!」

平成30年6月25日記